セルフモニタリング報告書（令和４年度分）

令和5年4月28日

施設名　苫小牧市民文化公園（サンガーデン及び市民文化公園）
指定管理者名　苫小牧造園協同組合
所管課　苫小牧市都市建設部緑地公園課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価
1　事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	適切に実行	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	概ね目標達成	A・B・Ⓒ・D・E
施設の設置目的に合った成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		A・B・C・D・E
自主事業は計画通り行われたか。	概ね目標達成	A・B・Ⓒ・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	関係機関等と連携した取組みを実施	Ⓐ・B・C・D・E
2　利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	良好	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	適切に対応	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	適切に対応	Ⓐ・B・C・D・E
3　管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	図られている	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	適切	Ⓐ・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	適切に取り組んでいる	Ⓐ・B・C・D・E
4　適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適材適所で実行	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	随時研修実施	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	適正に処理	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	適正に管理	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適切に処理	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適切に実行	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に管理	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	万全を期した	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	適切に管理	Ⓐ・B・C・D・E
5　地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	十分貢献	Ⓐ・B・C・D・E

A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
E：目標、事業計画内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価　★★★★★

指定管理者の自己評価（全体を通して）

　サンガーデンについては、昨年、新型コロナウイルス感染防止による休館による入館者の減少や講座や講習会の中止等があったが、今年度は、新型コロナ感染防止対策による行動制限も徐々に緩和されたことから、全国都市緑化フェアの開催や3年ぶりにアートフェスティバル、コスプレフェスタが開催されるなど、入館者についても、昨年度の91,164人から1.4倍の129,099人となりコロナ禍以前の日常生活を取り戻そうという動きが見られ予定されていた園芸講座、ハーブ講習会、木育ワールドも順調に開催された。
　サンガーデンのコンセプトの「冬期間の緑の確保」「冬期に花が咲くもの」「葉や花に香りのあるもの」「名は知れているが苫小牧で見ることが出来ないもの」に沿った植物管理に努め、館内の植物の情報の周知や四季を感じることの出来る植物の展示を行った。
　また、例年実施している桜の開花予想クイズやポインセチアの数当てクイズも過去最高の応募数となり好評を得た他、季節のイベントとして、クリスマス飾り・ひな飾りの展示など、当施設を身近に感じてもらう工夫をして市民に対して身近に緑を感じる施設として啓発及び緑化の推進に努めた。
　さらに、利用者アンケート調査でも「満足」が７０パーセント、「やや満足」が２７パーセントと高評価を得ており、業務全般において、管理水準は良好であるものと考える。

　市民文化公園については、昨年度の入場者数が新型コロナウイルス感染防止によるサンガーデンや図書館の休館措置などにより5万人を割っていたが、今年度は新型コロナ感染防止対策の行動制限が緩和され親水施設も再開したことから1.7倍の8万2千人となった。
　管理業務については、春のカラスの苦情対策として抱卵前に巣の撤去や夏のハチの被害を防ぐため、スズメバチトラップによる捕獲など事前予防に努め安心して公園利用ができるよう配慮した。冬期には、除雪作業を迅速に行うため重機委託をするなどし、歩行者通路や駐車場等、利用者に支障が出ないよう努めた。
　利用者アンケート調査でも「満足」が77パーセント、「やや満足」が22パーセントと高評価を得ており、公園利用者の要求に対して充分に対応ができており、業務全般に係る管理水準は良好であると考える。